

「シーズン」を一緒に一緒
大会で2
ルが向上
示すと

つした。
所が取り組んできた「希
望学プロジェクト釜石調
査」の報告会が16日、釜
石市民文化会館中ホール
で開かれた。歴史、地域
社会など4つのテーマで
それぞれの担当者がパネ
ルディスカッションを行
い、調査報告を行った。
この日のテーマは、希
望の来歴―歴史、希望を
つなぐ―地域社会、希望
の再生―地域振興、希望
に向かって―市民の動向
の4テーマ。
それぞれのテーマで調
査してきた担当者が壇上
から結果を報告した。詳
し、県

大会出場を果たした
◇監督賞▽藤原一彦
(日向ライオーズ) 県
予選出場をかけた市予選
で優勝、市団体リーグ戦
1部トーナメントで優
勝。三陸海岸学童で準優
勝を達成。顕著な戦績を
残し、優れた指導力を示
した
◇団員功労賞▽久保龍
汰(唐丹) 尾崎小6年
種大会で活躍、優秀な成
績を残した。主将として
優れたリーダーシップを
発揮、県大会出場へ大き
く貢献した
▽古崎優汰(日向ライ
オーズ) 各種大会で顕
著な成績を残した。とく
に三陸海岸(県)大会で
は2本のオーバードフェ
ンス(本塁打)を記録した
▽中村勝哉(小佐野ク
ラウン) 2エース投手。
各種大会で活躍、優秀な
成績を残した。県大会出
場に大きく寄与した
▽萬慎吾(箱崎) 各

石「地域の未来、希望は」 釜 関係者が集まり調査報告

東京大学社会科学研究所が取り組んできた「希望学プロジェクト釜石調査」の報告会が16日、釜石市民文化会館中ホールで開かれた。歴史、地域社会など4つのテーマでそれぞれの担当者がパネルディスカッションを行い、調査報告を行った。この日のテーマは、希望の来歴―歴史、希望をつなぐ―地域社会、希望の再生―地域振興、希望に向かって―市民の動向の4テーマ。それぞれのテーマで調査してきた担当者が壇上から結果を報告した。詳しく、県



しくは来年5月に出版予定の本で紹介されるが、
「本のセールスではありませんで」とユーモア

を交えながら報告した。
歴史のテーマでは「豊かな歴史と文化が詰まっている。個別の利害を超えて全体の利益を重視すること、思いを共有するためのリーダーの重要性。仕事と地域社会のかわり、お互いに関心を持つ。よそ者と出戻りを生かした街に」などの報告があった。

釜石高の2人に税務署長賞 税に関する作文で表彰

国税庁が募集した本年度の「税に関する高校生の作文」で釜石税務署長賞を受賞した県立釜石高校1年、佐藤梨沙さんと佐々木志奈さんの表彰式が14日、釜石市甲子町の同校であった。



同作文は、次代を担う高校生に税に対する関心を深めてもらうことなどを狙いに1992年度から毎年募集している。釜石税務署管内では本年度、3校から241編の応募があった。
釜石高(大鹿糠文行校長、生徒642人)では、1年生の「公民」の夏休みの課題とし、ほとんどの生徒が作文を提出。これをもとに、夏休み明けから現代社会の授業で税について学んだ。
表彰式には釜石税務署の松本司総務課長らが訪れ、佐藤さんと佐々木さんに賞状や記念品を授与。大鹿糠校長も受賞を指摘した。
喜んでた。
佐藤さんの作文のテーマは「税金との関わり方」。税金の不透明な使い道に不満を述べながらも「税を知ろうとする姿勢と、国民に知らせようとする姿勢」が一致してこそ、どちらにとっても有益な関係が築ける」と指摘した。
〔税の作文で釜石税務署長賞を受けた釜石高の佐藤梨沙さん(中)と佐々木志奈さん(右)〕
佐々木さんは「税について」をテーマに作文を

石 道路施設